

2016 World Electric Vehicle Challenge in SUGO

実施規定（案）

2016年度の主な変更点

1. 支給走行用バッテリーの型式が変更になり、容量が15%アップされました。関連して、高速レースとなる可能性があるため、安全性向上のための制動灯（第28条第18項）とブレーキ（第27条第4項）に追記しました。次年度以降は、義務化予定です。
2. ジュニアクラスチームのエントリー料金を22,000円に変更しました。
3. 第28条 「安全性」において、「突起、鋭利な縁」の排除を明記。また、ドライバーの身体が車体からはみ出さない構造であることを明記しました。
4. 高速化が予想されるので、競技時のコース走行の左側走行、右側追い越しの原則に修正しました。具体的には、ブリーフィングで説明します。
5. 第28条第16項、雨天、濃霧時の視認性向上のために尾灯の設置を義務付けます。
6. 安全性の確保の観点から、リチウム系電池の記載を削除しました。

なお、高校チームからドライバーの体重を統一すべきとの要望がでており、次年度以降、ドライバー体重規定が、本大会でも盛り込まれる可能性があることを念頭に今後の車両設計を行うようにして戴ければ幸いです。

160624 V.1.07

電気自動車エコラン競技大会実行委員会

【実 施 規 定】

《第 1 章》 総則

第 1 条 大会の名称

『2016 World Electric Vehicle Challenge in SUGO 』とし、以下、本規定においては『本大会』と称する。

第 2 条 主催団体

本大会は『電気自動車エコラン競技大会実行委員会』が主催する。

第 3 条 開催日程

2016年9月3日（土）公式練習*

2016年9月4日（日）決 勝

*公式練習とは大会実行委員会より指定された練習時間であり、ラップタイムを計測する事を目的とする。

第 4 条 開催場所

本大会は、宮城県『スポーツランドSUGO』において開催される。

第 5 条 後援・共催・協賛

後援、共催、協賛団体については大会プログラム等へ記載し、公表する。

第 6 条 主管

本大会は『電気自動車エコラン競技大会実行委員会』が主管する。

第 7 条 大会組織・役員

別途定めるものとする。

第 8 条 事務局の連絡先

電気自動車エコラン実行委員会 事務局

（株）レーシングプロモーション内 担当：畑 山 忠 彦

〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-6-26-102

TEL 022-225-5037、 FAX 022-225-5138

E-mail t-hatayama@joy.hi-ho.ne.jp

第 9 条 競技クラス

- (1) 一般オープンクラス（社会人・大学）
- (2) ジュニアクラス（高等専門学校・高校）

第 10 条 規定の改正

本大会の実行委員会は本規定を変更する事ができる。

第 11 条 規定の解釈

本規定に定められていない事項あるいは明記されていない事項については、本大会実行委員会が最終的な決定を下すものとする。

第12条 異議申し立て

1. 異議申し立てを行う場合には、意義申し立ての対象となる事態の発生から30分以内に書面で行わなければならない。
2. 異議申し立てを行う事ができるのは、各チームの代表者に限る。
3. 大会実行委員会の裁定結果は、関係当事者のみに口頭で通知される。
4. 競技時間中の規則違反、不正行為に対する抗議は、競技終了後1時間以内とする。
5. 競技の最終結果に対する抗議は、暫定結果発表後15分以内とする。

第13条 競技車両の識別

1. 各出場チームには本大会よりゼッケンナンバーを割り当て、ゼッケンを配布する。
2. ゼッケンは外部から視認しやすい場所に貼らなければならない。

第14条 公式通知

本規定以外の必要事項に関しては、ブリーフィング及び公式通知にて公示する。
緊急の場合は、場内放送などで伝達される。

《第2章》 エントリー

第15条 参加申し込み

1. エントリーの受付は以下の通りとする。
実施要領受け取り後から 平成28年8月1日(月)(消印有効)までとする。製作教室部門は製作教室開催団体が定める期限までにエントリーする。
2. チームの代表者はメンバー全員の行動の責任を負うものとする。
3. ドライバーは自動車運転免許証を保持することを原則とする。
但し、ジュニアチームに限定し、次の条件を満たした場合に運転を認める。
 - (1) ドライバーは原則15歳以上の事。
 - (2) 運転免許証を所持する先生や先輩がチームメンバーに登録されている事。
 - (3) スポーツランドSUGOで事前に開催される講習会を受講する事。なお、当講習会の日程は別途定める。
 - (4) 製作教室部門における15歳未満のドライバー希望者については大会競技委員会にて審議するものとする。
4. チームの代表者は、車検の時刻までは、メンバー及びドライバーの変更ができる。

第16条 参加費

1. 参加費はオープンクラス 35,000円(本大会で支給する鉛バッテリーが不要な場合23,000円)、ジュニアクラス 22,000円(大会が支給する鉛バッテリーが不要な場合10,000円)とし、申し込み時に納入するものとする。
2. 申し込み期限前に参加を取り消した場合、参加費は払い戻すものとする。申し込み期限以降の取り消しの場合は払い戻しを行わない。
3. 参加チームメンバー中、3名以上が、共催学会会員であることを申告した場合は、参加費から5,000円を控除する。

第17条 保険

1. 練習走行および大会当日の運転者は、SUGOスポーツ補償制度の3,000円/2日間に必ず加入しなければならない。
2. 全ての参加者は、事故・損失により損害が生じた場合、自己の責任において一切の処理を行わなければならない。また、主催者及び大役会員、コース施設管理者は一切の損害補償の責任を免除されている事を承知していなければならない。その為の対人・対物・搭乗者傷害を対象とする賠償責任保険に加入していなければならない。

《第3章》 競技概要

第18条 競技コース

スポーツランドSUGOのレーシングコースにおいて正順（時計回り）で実施する。

全長	: 3,704.256m (シケイン部分を除く)		
最大直線	: 704.50m	平均縦断上り勾配	: 4.4%
最小曲線半径	: 20m	最大縦断下り勾配	: 8.37%
走行路幅	: 10.0~12.5m	最大横断勾配	: 10.0%
最大縦断上り勾配	: 10.0%	最大標高差	: 69.83m

第19条 競技方法

1. 走行のためのエネルギー源として、大会で支給するバッテリーを使用して、それぞれの車両性能に合わせた走行計画のもとに、バッテリーを使い切って走行した周回数を競う競技である。
2. 原則として大会側から支給されたバッテリー以外の走行用電力となりうるいかなる動力源も搭載できない。ただし、タイヤから得られる回生エネルギーに限って、省エネ走行をテーマとする本大会の趣旨に合致するため奨励する。

支給バッテリー：古河電池 型式：FPX1288

公称容量：DC12V-8.8Ah / (20hr)

寸法：H 102mm × L 151mm × W 65mm

質量：約 2.85kg 4個での概算電力容量：約423Wh / 20hr

第1表 各種走行用バッテリーの質量制限

電池の種類		電池質量の上限
鉛(制御弁式)	Lead-acid	12 Kg
ニッケルカドミウム	Nickel-Cadmium	9 Kg
ニッケル水素	Nickel-Metal-Hydride	4.5 Kg
リチウムイオン	Lithium-Ion	1.4 Kg
リチウムイオンポリマー	Lithium-Ion-Polymer	1.4 Kg

鉛バッテリーは、制御弁式（シール式）鉛蓄電池のみ使用可能とする。支給バッテリー以外は製品規格が明示されたカタログなどを車検時に提示すること。

バッテリーは、然るべき技術を有した製造者によって製造された製品のみを使用すること。改造品の使用は許可しない。また、危険と判断されるバッテリーの使用は許可しない。

~~リチウムイオン（ポリマータイプを含む）バッテリーは、然るべき技術を有した製造者によって製造され、専用の電圧監視および保護回路を装備したバッテリーパックのみ使用を認める。また、所定の仕様書および安全に関する書類を競技大会が開催される30日前までに実行委員会宛に送付し、安全に競技できることを申請しなければならない。~~

3. 周回数計測には、本大会が各チームへ支給する周回時間確認用の発信機を使用する。
4. 大会で支給するバッテリー以外を使用して、競技に参加することは、排除しない。その場合、第1表の質量制限等を順守し、安全の確保を義務づける。ただし、W.E.M.グランプリの評価対象とはしない。

第20条 公式練習

2016年9月3日に行う。スケジュールについては参加申し込み後に、公式通知として連絡する。公式練習は、次項の「スタート」時のグリッド位置を決めるレースゆえ、原則として支給バッテリーで走行する。

第21条 スタート

原則としてグリッドからの一斉スタートとする。(公式練習のラップタイム順にグリッド位置に着く)

第22条 競技終了

競技時間は2時間で終了する。同一周回数の場合、最後の周回の計測ラインを先に通過したチームを上位とする。

第23条 走行

1. 原則として全ての競技車両は左側通行とする。
2. 走行は車間距離や速度差に充分配慮し、走行車両に追いついた場合は、ベル又はクラクションで合図した後、右側から追い越すこととする。
3. ~~後方に追い越そうとしている競技車両がある場合は、安全かつ速やかに進路を譲って追い越させる事。~~
4. 競技員の誘導に従う場合以外は、いかなる場合も逆走行やショートカットをしてはならない。
5. コース内での最高速度は安全確保と回生機能活用を促進するために、65km/h以下とする。
6. トラブルにより停止する車両は、競技を妨害しないように速やかに最寄りの路肩に車両を寄せる事。
7. 競技時間内の修理はピットでの実施を原則とし、コース内での修理はオフィシャルの許可を得て一回限り実施可能とする。その際は、チームメンバー3名以下のコースインを認める。なお、オフィシャルの指示に従わない場合は失格とする。
8. ドライバー交代及び修理はオフィシャルの許可を得て、自らのピットで実施できる。なお、オフィシャルの指示に従わなかった場合及び明らかに走行コースのショートカットを目的としたピットインと認められた場合は失格とする。
9. 非接触充電車両など走行用バッテリーを車両に搭載しない車両の場合は、指定された充電ピットで、充電することができる。充電ピットで使用する充電装置の電源は第19条に定める走行用バッテリーとし、車検の際にあらかじめ技術検査を受け、使用が認められたものでなければならない。
10. 全ての競技者は競技中に緊急車両、オフィシャルカーなどの車両がコース内を走行する事を承知していなければならない。

第24条 成績

第22条の評価基準に従って、周回数の多い順に、クラス・車両種別でその栄誉を表彰する。

第25条 競技の中止

次のような場合、参加者の安全を考え、競技を中止する事がある。

- (1) 強風の場合
- (2) 豪雨の場合

(3) 災害によりコースが使用不能の場合

(4) その他、大会本部が競技の開催又は続行が不可能と判断した場合。

やむを得ず本レースが行えない場合は、公式練習時のラップタイムを最終競技結果とする事がある。

第26条 信号旗

競技に使用する信号旗は以下の通りである。

(1) 黄旗：走行注意

(2) 赤旗：競技中止

(3) チェッカー：競技終了

《第4章》車両規定

第27条 シャシー・ボディー・ブレーキ・バッテリー・モーター

1. 競技車両のデザイン及び構造は以下の各号を除き、自由とする。
2. 競技車両サイズは、全長3.5m、全幅1.3m、全高1.6m以内で、3輪以上の車両とし、ドライバーが乗車した状態で、少なくとも横傾斜45°の斜面上で横転しないこととする。
3. 輪距（トレッド中心間距離）を前・後輪ともに600mm以上を有し、前2輪、後2輪、合計4輪以上で、**前項2と同様に横傾斜45°の斜面上で横転しない車両を推奨し、これを四輪車部門車両とする。**
4. ブレーキとして、ドライバーが搭乗した状態で10%勾配の斜面上で制止可能なブレーキを装備する事。
なお、安全走行に必要な制動力と耐久性を持ち、確実に作動するブレーキを2系統有することを推奨する。車検やブレーキテストの際に審査員が不充分と判断した時は、競技に出場できない場合がある。
5. 走行用駆動モーターは特に制限しない。
6. **公式練習を含め**走行用バッテリーは、第19条の第1表に定める制限質量以下に限定する。走行用バッテリーとして市販のバッテリーを複数個使用する場合は、同一メーカー、同一型番で構成しなければならない。
7. 公式練習および競技中の走行には、走行用バッテリー以外のエネルギー源を使用する事はできない。但し、**尾灯、制動灯、スピードメーター、クラクション、計測機器（電流計、電圧計、電力計）**に使用するバッテリーは、車検員が独立配線として認めた別電源に限り使用できる。
8. 第19条以外のエネルギー源が搭載されていると疑われる構成、部分がある場合は車検に合格できない場合がある。
9. 走行用バッテリーは、転倒しても飛び出さないように車体の主要構造体にしっかりと固定され短絡に対する保護がなされなければならない。くわえて、速やかにかつ確実に電氣的結線部が接続できるように搭載すること。
10. 周回時間確認用発信機（AMB TranX PRO）を規定の位置に取り付ける。取付け位置等は車検時に指導・確認する。
11. キャパシタ、インダクタ及びフライホイール等を使用する場合は、スタート前に電荷及び貯蔵エネルギーがゼロである事を証明しなければならない。キャパシタについては、直列における総電圧の1/10以下をエネルギーゼロと判断する。スタート前車検後、スタートまでの時間に、走行用バッテリーからキャパシタへ充電することができる。この際、走行用バッテリー以外の電源による充電行為が認められた場合は失格とする。

- 1 2. 駆動用モーターによる回生制動は、省エネ走行をテーマとする本大会の主旨に、合致しているので推奨する。
- 1 3. 人力を含めて、走行の補助となりうる機構または装備は一切認められない。
- 1 4. 車載搭載通信機及びドライバーとピットクルーとの交信は携帯電話に限定する。尚、ドライバーが使用する場合には、ハンズフリー装置等を用いなければならない。
- 1 5. 車両総重量は制限しない。ここで車両総重量というのはドライバー・ヘルメット等を入れた実際走行できる状態を言う。(今後の大会の為の参考データとして車検時に重量を測定する)

第28条 安全性

1. 競技車両の外側及びコックピット内に危険につながると思われる**突起、鋭利な縁**があってはならない。
2. 衝突時の車体の変形およびドライバーの負傷を防止するため、車両から**手、腕、足、脚**など体の一部がはみ出さない**構造であること**。
3. 転倒時、ドライバーの頸部を保護するために、ロールバーもしくはロールケージの取り付けを強く推奨する。
4. ドライバーは競技走行中、車内に備えられたシートベルトの装着を推奨する。
5. 緊急の場合に備え、ドライバーは自力で車外へ脱出できる事。
6. ヘルメットはJ A F公認の物を特に推奨する。但し、ドライバーはJ I Sマークの確認できるヘルメットを必ず着用する事。
7. ドライバーは不燃性のレーシングスーツの着用を推奨する。(長袖・長ズボン着用)
8. ドライバーは、指先まで覆っている革製手袋を着用のこと。
9. ドライバーは電氣的ショックから保護されていなければならない。
10. 30ボルト以上の電圧を使用する時は、高電圧の警告表示を行わなければならない。
11. 警笛のために、ベル又はクラクションを装備しなければならない。但し、電子ブザーは独立配線が確認できるものに限り搭載可とする。
12. 安全走行が確保できる視界が確保されている事。
13. 後方確認用として、できるかぎり大型のバックミラーを左右各1個以上装備する事。
14. 高速回転体(チェーン・スプロケット・ギアなど)には保護カバーを施さなければならない。
15. カウルなどのファスナーは、ドライバーが単独で脱出可能な構造であること。
16. 悪天候時の被視認性の向上のため、赤色警告灯(尾灯)の装着を**義務付ける**。**尾灯(赤色)は後部中央1灯もしくは左右に2灯を有し、点灯が30m後方から視認できることとする**。
17. 走行時の運転姿勢を取った状態でのドライバーの足が保護されるように、主要構造体からつながる防護体を車体前部に取り付けてあること。
18. **制動灯の取り付けを推奨する**。**制動灯(赤色)は後部中央1灯もしくは左右に2灯を有し、確実に作動するものとする**。なお、点灯が30m後方から視認できることとする。

第29条 車両検査

1. 競技に参加する全ての車両は、**2016年9月3日及び4日**に行われる公式車両検査を受けなければならない。
2. 競技に参加する全ての車両は、車両規則に基づく項目ごとにその適合の確認を受けなければならない。
3. **車検長あるいは競技長**より車両の修正を命じられ、時間内に行えない場合は、競技に出場できない。
4. 車両検査終了後は車両規則に定められた内容に関して変更してはならない。

5. 競技終了後、成績発表まで車両を指定場所に保管する事。また、入賞対象車両は再び車両検査を受けなければならない。

《第5章》その他

第30条 失格

1. 次のような場合、失格を命ずる場合がある。
 - (1) 走行中に手押し又は足により、明らかに走行を補助している行為が認められた場合。
 - (2) バッテリーへの車検時封印の開封、またはケースの破損を含めた改造が見られた場合。
 - (3) 本戦にて、使用が認められたエネルギー源以外の、走行を補助するとみなされる動力源が用いられたことが確認された場合。
 - (4) 走行速度が 65km/h 超と計測され、減速命令を受けた後も 65km/h 超と計測された場合。
 - (5) 競技委員の指示に従わなかった場合。
 - (6) 実行委員長、競技長ならびに車検長からなる審査委員会が悪質なマナー違反と判断した場合。

第31条 肖像権

1. 参加者はエネルギーの有効活用の啓蒙活動及び広報活動の為に、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などにおけるドライバー及び車両の肖像権を大会実行委員会に提供するものとする。

第32条 広告

1. 競技車両の車体に広告を付ける事ができる。
2. マークやレタリングは不快感を与えるものであってはならない。

【参加要項】

1. 申し込みの手順

(1) 提出書類に必要事項を記入し、当事務局宛に送付又は、メールして下さい。

◆送付先 : 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-6-26-102
(株)レーシングプロモーション内
電気自動車エコラン実行委員会 事務局 畑山 忠彦
E-mail t-hatayama@joy.hi-ho.ne.jp

◆提出期限 : ①エントリー締切
参加申込書(様式-1)を提出。**平成28年8月1日(月)消印有効。**
②エントリー書類提出最終期限
その他の書類(様式-2~6)を提出。**平成28年8月10日(水)必着。**

(2) 参加料を下記の口座にお振込み下さい。

◆振込先 : 七十七銀行 宮城町支店
◆口座番号 : 普通口座 5426111
◆口座名 : 電気自動車エコラン実行委員会 事務局 会計 畑山忠彦
◆参加料 : ①オープンクラス 35,000 円 (バッテリー持込: 23,000円)
②ジュニアクラス 22,000 円 (バッテリー持込: 10,000円)
◆振込期限 : **平成28年 8月 10日(水)**

※申し込み期限内に参加を取り消した場合は、参加料を払い戻しますが、期限以降の取り消しの場合には払い戻しできませんのでご了承下さい。

※お振込みの際は、必ずチーム名もしくはチーム代表者名でお振込み下さい。

(3) 当事務局では、参加登録書(様式-1)を受理し、参加料の振込みが確認された時点で、「エントリー完了通知(ゼッケンNo.)」を発行、送付します。(8月20日前後)

2. 記入上の注意事項

※提出書類は、できるだけ詳しく、正確にご記入下さい。

※記載事項に変更があった場合は、速やかに書面で事務局までご連絡下さい。

(1) 参加登録書(様式-1)

◆チーム名 : 必ず記入して下さい。個人参加の場合は個人名でも可。

※当事務局の処理上、和文15文字以内、英文30文字以内でお願いします。また、和文表記の場合、英文表記もご記入下さい。記入の無い場合の英文表記については事務局にご一任下さい。

◆車名 : 必ず記入して下さい(文字数、表記については、上記「チーム名」を参照)。

◆所属 : 会社又は学校単位での出場の場合は、会社名・学校名を記入して下さい。プライベート・チーム又は個人参加の場合は「個人」と記入して下さい。

◆代表者氏名 : 必ず記入して下さい。(20歳以上の方に限ります。)

◆チームの特徴 : PR、エントリーの動機等、ご自由にご記入下さい。

※『様式-1』については、大会当日のチーム紹介や大会プログラム作成の参考にしますので、ご記入もれのないようご注意下さい。

参加登録書(2016)

フリガナ	
チーム名 *和文15文字以内、英文30文字以内 *和文表記の場合、英文表記も記入	[☆英文表記 : _____]
フリガナ	
車名 *和文15文字以内、英文30文字以内 *和文表記の場合、英文表記も記入	[☆英文表記 : _____]
フリガナ	
所属(会社・学校名)	
フリガナ	
チーム代表者氏名	
フリガナ	
代表者 連絡先	〒 _____ TEL : _____ FAX : _____ E-mail : _____ 携帯 : _____ URL : http:// _____
エントリークラス	<input type="checkbox"/> オープン・クラス (<input type="checkbox"/> 四輪) <input type="checkbox"/> ジュニア・クラス (<input type="checkbox"/> 四輪) <input type="checkbox"/> 製作教室部門
チーム概要	
他大会への参加歴	
その他特記事項	

我々は本競技大会の競技規則をはじめ、開催サーキットの競技諸規則を承認し遵守します。また、競技運転者は参加した種目について標準能力を持ち、参加車両についてもコースまたはスピードに対して適性があり、競技可能であることを申告します。さらに、我々はモータースポーツが危険性を伴う競技であることを十分認識の上、自己の責任において誠実かつ適切に競技を遂行するとともに、本競技に関連して万一事故が発生し、私や私の関係者が被害を被ることがあっても、主催団体をはじめサーキットおよび競技関係者(団体および個人)に対して如何なる責任の追及もしないことを誓約したうえで、2016 World Electric Vehicle Challenge in SUGO への参加を申し込みます。

2016年 月 日

代表者氏名 印

*受理書などの受取先が代表者と違う場合は、備考欄に住所を記入してください。*領収書が必要な場合は、備考欄に領収書の宛名を記入してください。

備考 ※バッテリー購入 有 ・ 無

(2) ドライバー登録書 (様式-2)

◆ドライバーの登録は複数でも可とする。

◆年齢は、**2016年9月4日**当日の年齢を記入して下さい。ドライバーが未定の場合は、その旨を用紙の余白に記入して下さい。

(3) チームメンバー登録書 (様式-3)

◆チーム代表者、ドライバーを含めたメンバー全員の氏名・生年月日・年齢をご記入下さい。

(4) 車両仕様書 (様式-4)

◆車両については、記入段階で判明している限りをご記入下さい。大会当日までに仕様の変更があった場合は、書面にて当事務局へご連絡下さい。

◆車両が未完成、あるいは設計段階の場合は、設計予定を記入し、用紙の余白にその旨をご記入下さい。

(5) 写真又はデザイン画 (様式-5)

◆指定の枠内に写真を貼るか、デザイン画をお書き下さい。添付いただいた写真又はデザイン画は、当日配布されるプログラム等に掲載する予定です。

(尚、添付いただいた写真又はデザイン画は返却できませんので予めご了承下さい。)

(6) 参加承諾書 (様式-6)

◆メンバーの中に未成年者が含まれる場合のみ、保護者の承諾が必要となりますので、必ずご記入下さい。承諾書が無い場合、原則としてそのメンバーは参加できない事となります。

3. 走行に際してSUGOスポーツ補償制度加入の義務

◆競技中に事故が発生した場合、主催者側はその責任を負いません。

※実施規定 第2章 第17条をご参照下さい。

◆参加チームは、次の事項に基づき、SUGOスポーツ補償制度に加入して下さい。

(1) SUGOスポーツ補償制度

◆走行するドライバーは3,000円/2日のSUGOスポーツ補償制度に必ず加入してください。

(2) SUGOスポーツ補償制度補償内容

◆死亡補償金 : 500万円

◆入院補償金 : 5~14日まで一律 20,000円

15~29日まで一律 40,000円

30~59日まで一律 60,000円

◆通院補償金 : 5日以上通院一律 5,000円

※詳しい補償内容は、事務局に問合せ下さい。

※何れの場合も大会当日、大会事務局への申告が必要となります。

ドライバー登録書(2016)

参加クラス		チーム名		
1	フリガナ		生年月日	年齢
	氏 名		年 月 日	歳
	住 所	〒 —		
	T E L			
	4輪運転免許証 No. (所持者の場合)			
2	フリガナ		生年月日	年齢
	氏 名		年 月 日	歳
	住 所	〒 —		
	T E L			
	4輪運転免許証 No. (所持者の場合)			
3	フリガナ		生年月日	年齢
	氏 名		年 月 日	歳
	住 所	〒 —		
	T E L			
	4輪運転免許証 No. (所持者の場合)			

走行保険料

2日間	人x3,000円	¥
-----	----------	---

チームメンバー登録書(2016)

参加クラス		チーム名		
1	フリガナ		生年月日	年齢
	氏名		年 月 日 学会会員番号:	歳
2	フリガナ		生年月日	年齢
	氏名		年 月 日 学会会員番号:	歳
3	フリガナ		生年月日	年齢
	氏名		年 月 日 学会会員番号:	歳
4	フリガナ		生年月日	年齢
	氏名		年 月 日 学会会員番号:	歳
5	フリガナ		生年月日	年齢
	氏名		年 月 日 学会会員番号:	歳
6	フリガナ		生年月日	年齢
	氏名		年 月 日 学会会員番号:	歳
7	フリガナ		生年月日	年齢
	氏名		年 月 日 学会会員番号:	歳
8	フリガナ		生年月日	年齢
	氏名		年 月 日 学会会員番号:	歳
9	フリガナ		生年月日	年齢
	氏名		年 月 日 学会会員番号:	歳
10	フリガナ		生年月日	年齢
	氏名		年 月 日 学会会員番号:	歳

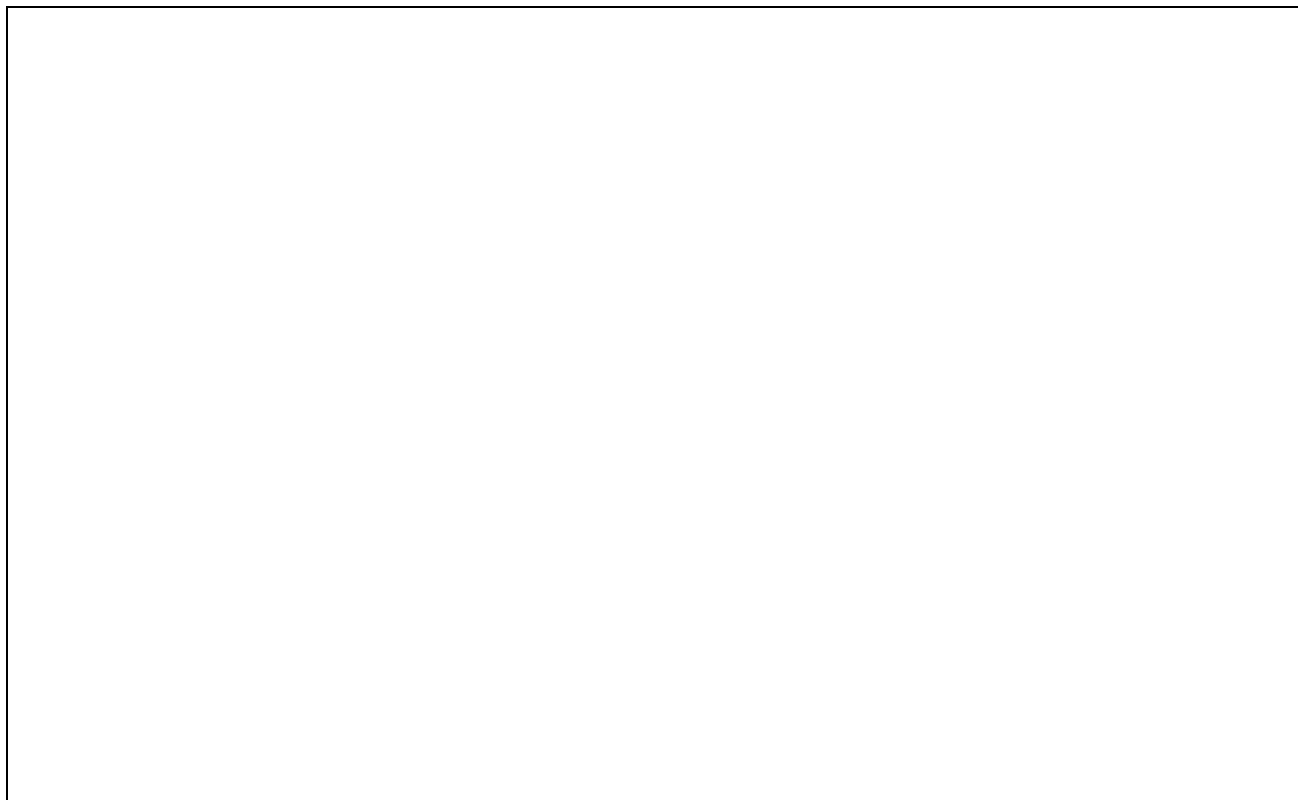
- * 太線枠内に、チーム代表者をご記入下さい。
- * 年齢は 2016年9月4日当日の年齢をご記入下さい。
- * 共催学会会員の場合は会員番号をご記入ください。
- * 記入欄が不足の場合は、コピーして提出してください。

車両仕様書(2016)

参加クラス		チーム名	
車両寸法 Vehicle Dimensions ドライバー乗車時の横転 開始角度: (_____ >45°)	全長 Length		mm
	全幅 Width		mm
	全高 Height		mm
	軸間距離 Wheel-base		mm
	車輪間隔(前輪) Tread (front)		mm
	車輪間隔(後輪) Tread (rear)		mm
	車両重量(ドライバを含まず) Weight (without driver)		kgw
	最低地上高 Ground clearance		mm
車体・構造 Equipment And Construction	フレーム(タイプ・材質) Frame (type/material)		
	ボディー材質 Body material		
	ホイール(数量・サイズ・材質) Wheels (quantity/size/material)		
	タイヤ(サイズ・メーカー・タイプ) Tire (size/manufacturer/type)		
	ブレーキ(タイプ) Brake (type)		
	回生ブレーキ Regenerative braking		
	駆動伝達装置 Drive system		
モーター Motor	タイプ Type		
	メーカー・型番 Manufacturer/Model No.		
	重量 Weight (each)		kgw
	台数 Quantity		台
バッテリー Battery	タイプ Type		
	メーカー・型番 Manufacturer/Model No.		
	重量 Weight (each)		kgw
	個数 Quantity		
	接続方法 Connection		直列 並列
キャパシタ Capacitor	タイプ Type		
	メーカー・型番 Manufacturer/Model No.		
	本数 Quantity		
	接続方法 Connection		直列 並列
	最大電圧、容量 Max. Voltage/Capacity		V F
その他 Cost	製作費用(推定) Estimated vehicle cost (total)		円くらい

競 技 車 両 の 写 真 ま た は デ ザ イ ン 画 (2 0 1 6)

参加クラス		チーム名	
-------	--	------	--



大会プログラムに使用しますので、枠内に車両の写真もしくはデザイン画を貼付してください。

参加承諾書

チーム名

チーム代表者氏名

印

下記の者が、2016 World Electric Vehicle Challenge in SUGOに参加するに当たり保護者として承諾します。

メンバー氏名				
保護者	氏名	印	続柄	
	住所	〒 ー		
	電話番号			

メンバー氏名				
保護者	氏名	印	続柄	
	住所	〒 ー		
	電話番号			

メンバー氏名				
保護者	氏名	印	続柄	
	住所	〒 ー		
	電話番号			

メンバー氏名				
保護者	氏名	印	続柄	
	住所	〒 ー		
	電話番号			

記入上の留意点：2016年9月4日当日、未成年のメンバーがいる場合、提出をお願いいたします。また、記入欄が不足の場合は、この用紙をコピーして追加記入して提出して下さい。